

創立146周年

学校便り

令和4年度

No.8



# 進取

令和4年12月21日発行

阿久根市立阿久根小学校  
29学級 児童数434人

## プレゼントと親の覚悟

校長 深川 光久

令和4年もあとわずかとなりました。今年は、新型コロナウイルス感染症オミクロン株の感染拡大もあり、家族の健康について、心配されたことでしょうか。収束するまで、もう少し感染予防を続けていかなければなりません。冬休みに人の移動もありますから、新学期スタートに流行しないことを祈るばかりです。それでもなんとか2学期の様々な教育活動を続けることができたのも、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。本当に有り難うございました。

さて、今月は「プレゼントと親の覚悟」というタイトルにしましたが、なんのことがお分かりでしょうか？

12月、1月は、クリスマスプレゼントやお年玉など、子供たちがプレゼントをもらう機会が多い時期です。子供たちが欲しがると言えば、各種ゲーム機やスマートフォンが多いでしょう。これまでなんとか我慢させてきたご家庭もたくさんあることでしょうか？これは、買い与えるなどという話ではありません。買い与えるときは覚悟をもって、子供たちが上手にそういった機器と上手に付き合えるように親として事前に手を打ったり、見守ったりしなければならないということです。

子供たちは、ゲーム機やスマートフォンをもらえると大喜びするでしょう。しかし、親にとっても便利さを得られることはありますが、子供が持ったことによる他者とのトラブルや学力低下の危険性があることも覚悟しなければいけません。他者とのトラブルとは、これまでお知らせしてきましたネット型ゲームやSNS使用時の友達等とのトラブルです。自分の子供が相手を傷つけるような発言をして、相手に謝罪しなければならないことが出てくるかもしれないということです。絶対にないとは言えません。

学力低下については、長時間のスマホやゲームの使用は、学力低下につながると言われています。仙台市教育委員会の「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」で啓発されていることが有名です。「仙台市、スマホ、学力低下」で検索されれば出てくるとも思います。学力低下につながるといことは、子供たちの将来の生活にも影響するということです。

そこで、与える前に、子供たちと使用時間や使い方のルールを決め、もしルールを逸脱したときにどうするかまで決めておくことが大事です。心配する保護者の気持ちや考えを子供たちに伝え、子供たちにもルールを考えさせ「使用時間は〇〇までにする。」とか「ルールを守れなかった時には〇〇する。」など子供にも自分から言わせて決意させることが大切です。そして、ルールを守れないときには、最悪の場合子供と親子げんかになっても取り上げる覚悟をもつことが必要だと思います。子供の将来を考えて、上手にデジタル機器と付き合える力を養っていかなければなりません。与えるのも与えないのも親の決断。子供の個性や性格、必要性なども考えながら判断してください。

### 中央公園前ゼブラゾーンで、車を止めて乗降をしないで！

先週の朝、警察の方から「阿久根小の前にある中央公園のゼブラゾーンに停車する車があるので、車を止めないように保護者に連絡してください。」というお話がありました。昨年もお願いしましたが、また多くなっているそうです。中央公園前のゼブラゾーンは駐車してよい場所ではなくて、車が通らないように付けてあるものです。交差点になるので違反を取られる可能性があります。また、一旦停止をしないで3号線に出る車もあったようですので気を付けてください。祖父母の方々にもお知らせください。